（別紙様式１）

遺伝子組換え実験計画申請書

年　　月　　日

高知工科大学長　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　 実験責任者 所属

氏名

下記遺伝子組換え実験計画の　　□　承認を申請します。

　　　　　　　　　　　　　　　□　変更の承認を申請します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
| 受理（承認）番号(変更申請の場合) |  |
| 実験責任者 | 職　名 |  | 氏　名 |  |
| （注１） | □遺伝子組換え実験計画（別紙様式１－１，１－２）□その他参考資料（　　点） |
| （注２） |  |

1. 該当する項目をチェックすること。実験計画書（別紙１－１，１－２）

を必ず添付すること。

（注２）　実験計画書中の変更項目名を記入すること。

（別紙１－１）

遺伝子組換え実験計画

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |
| 実施期間 | 年　　　　月から　　　　年　　　　月まで |
| 場所 | 名　称 |  |
| 所在地 | 〒　　　　　 |
| 実験責任者 | 所属部局 |  |
| 職名・氏名 |  |
|  | Tel: | Fax: | E-mail: |
| 遺伝子組換え実験の目的 | 種　類 | 　１．微生物使用実験　　２．大量培養実験　３．動物使用実験　　　（１）動物作成実験　（２）動物接種実験　　　　　　　　　　４．植物使用実験　　　（１）植物作成実験　（２）植物接種実験　　　　　　　　　　　　（３）きのこ作成実験　５．細胞融合実験 |
| 目　的 |  |
| 概　要 | 　別紙１－２記載のとおり |
| 実験従事者 | 氏　名 | 職　名 | 宿主及びその取扱い経験年数 | 遺伝子組換え実験等に係る実験経験年数 |
|  |  |  |  |
| 拡散防止措置 | 区　　　分 | 　　１．　Ｐ１　　　　　　２．　Ｐ２　　　　　３．　Ｐ３ 　　　４．　ＬＳＣ　　　　　５．　ＬＳ１　　　　６．　ＬＳ２　　７．　Ｐ１Ａ　　　　　８．　Ｐ２Ａ　　　　９．　Ｐ３Ａ　　　１０．　特定飼育区画　１１．　Ｐ１Ｐ　　　１２．　Ｐ２Ｐ　　　１３．　Ｐ３Ｐ　　　　１４．　特定網室　　　　　 |
| 施設等の概要（施設等を初めて申請する場合は記載してください） |  |
| 遺伝子組換え生物等を不活化するための措置 | 　 |
| 安全委員会の意見 |  |
| 安全委員会委員長氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

（別紙１－２）

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表　　　　課題名：　　　　　　　　　　　　　　　実験責任者：

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 核酸供与体 | 供与核酸 | ベクター | 宿主等 | 保有動植物等 | 拡散防止措置の区分 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

１　本表には、当該第二種使用等に係る全ての遺伝子組換え生物等及び当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の区分について記載する。また、核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有動植物及び拡散防止措置の個々の組み合わせ並びに実験の一連の流れが分かるように記載する。

２　「核酸供与体」の欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名等を記載する。

３　「供与核酸」の欄には、ゲノムDNA、相補DNA、合成DNA等の供与核酸の種類と名称等を記載する。

４　「ベクター」の欄には、ベクターの名称を記載する。なお、ウィルスは、ベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。

５　「宿主等」、「保有動植物等」の欄には、それぞれ、宿主、遺伝子組換え生物等を保有させている動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載する。

６　「拡散防止措置の種類」の欄には、二種省令別表第１，別表第２、別表第３又は別表第４の上欄に掲げる拡散防止措置の区分を参考に、実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。

７　「備考」の欄には、（１）二種告示に基づく認定宿主―ベクター系を用いる場合には、その区分、名称及び（２）各段階における主な目的等を記載する